

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年5月16日(2019.5.16)

【公開番号】特開2019-51053(P2019-51053A)

【公開日】平成31年4月4日(2019.4.4)

【年通号数】公開・登録公報2019-013

【出願番号】特願2017-177283(P2017-177283)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	7/02	3 2 0
A 6 3 F	7/02	3 0 4 D
A 6 3 F	7/02	3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月22日(2019.2.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技が可能な遊技機であって、

第1部材に設けられる第1演出部と、

前記第1部材とは異なる第2部材に設けられる第2演出部と、

遊技者が操作可能な操作手段と、

を備え、

前記第2演出部は、所定動作により第1状態と該第1状態とは異なる第2状態とに変化可能であり、

所定の演出タイミングにおいて、前記第2演出部が前記第1状態から前記第2状態に変化して前記第1演出部と前記第2演出部とを含む複数の演出部からなる複合演出部が形成された場合に特別演出を実行可能な演出実行手段を備え、

前記演出実行手段は、前記所定の演出タイミングにおいて、前記第2演出部が前記第1状態から前記第2状態に変化せずに前記複合演出部が形成されない場合は前記特別演出を実行しない

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

前記課題を解決するために、本発明の手段1の遊技機は、

遊技が可能な遊技機(例えば、パチンコ遊技機1)であって、

第1部材(例えば、ガラス扉枠50または遊技機用枠3)に設けられる第1演出部(例えば、枠側演出体301A, 301B, 301Cまたは盤側演出体311A, 311B, 311C / 第1演出部711, 712)と、

前記第1部材とは異なる第2部材(例えば、遊技機用枠3またはガラス扉枠50)に設

けられる第2演出部（例えば、盤側演出体311A，311B，311Cまたは枠側演出体301A，301B，301C／第2演出部701，702）と、

遊技者が操作可能な操作手段（例えば、スティックコントローラ31A、プッシュボタン31B等）と、

を備え、

前記第2演出部は、所定動作により第1状態と該第1状態とは異なる第2状態とに変化可能であり（例えば、盤側演出体311Aの後側には、盤側演出体311Bが、盤側演出体311Aの背面側に位置する第1位置（原点位置）と、第1位置よりも左側の第2位置と、の間で左右方向に移動可能に立設されている。さらに、盤側演出体311Bの後側には、盤側演出体311Cが、盤側演出体311Aの背面側に位置する第1位置（原点位置）と、第2位置よりもさらに左側の第3位置と、の間で左右方向に移動可能に立設されている。）。

所定の演出タイミングにおいて、前記第2演出部が前記第1状態から前記第2状態に変化して前記第1演出部と前記第2演出部とを含む複数の演出部からなる複合演出部が形成された場合に特別演出を実行可能な演出実行手段（例えば、演出制御用CPU120が、スーパーリーチ演出の実行期間における大当たりまたははずれの確定報知を実行する直前のタイミングにおいて、第2演出部としての盤側演出体311B，311Cが第1位置から第2位置または第3位置まで移動するとともに、第1演出部としての枠側演出体301B，301Cが第1対応位置から第2対応位置または第3対応位置まで移動して、枠側演出体301A，301B，301Cと盤側演出体311A，311B，311Cとを含む複数の演出部からなる複合演出部が形成された場合に、枠側文字用LED350A，350B，350C、盤側文字用LED360A，360B，360C、枠側背景用LED351A，351B，351C、盤側背景用LED361A，361B，361C、演出用LED9を特別発光態様にて発光させるとともに、演出表示装置5に特別画像（例えば、カットイン画像など）を表示する特別演出を実行可能である部分。演出制御用CPU120がS311の可動演出処理を実行する部分）を備え、

前記演出実行手段は、前記所定の演出タイミングにおいて、前記第2演出部が前記第1状態から前記第2状態に変化せずに前記複合演出部が形成されない場合は前記特別演出を実行しない（例えば、演出制御用CPU120が、所定の演出タイミングにおいて、盤側演出体311B，311Cが第1位置から第2位置または第3位置まで移動せずに複合演出部が形成されない場合は可動演出を中断して特別演出を実行しない部分。演出制御用CPU120がS311の可動演出処理におけるS363，368，373，378，383，388，393，398の各タイミングで各演出体位置センサのいずれかが検出状態でない場合に可動演出中断フラグをセットする部分。）

ことを特徴としている。

この特徴によれば、不適切な演出が実行されることにより遊技者に違和感を与えることを抑制できる。